

平成 1 9 年 度

決 算 報 告 書
(事業報告書)

財団法人 千葉市保健医療事業団

I 平成18年度事業報告

第1 事業の概要

「人生80年時代」を積極的に生活していくためには、疾病予防及び健康の保持増進を図ることが重要であることから、健康づくりの推進を重点目標とし、疾病予防や健康の保持増進の普及・啓発を積極的に行うとともに、併せて地域医療及び救急医療の確保を図ることにより、市民の健康管理の向上に努めた。

第2 事業内容

1 自主事業

(1) 健康づくり推進事業

ア 新世紀ちば健康プラン推進協議会

平成14年12月に策定された「新世紀ちば健康プラン＜健康日本21・千葉市計画＞」を民間レベルで推進するため、平成15年10月に設立された新世紀ちば健康プラン推進協議会の事務局を担い、健康づくりの普及啓発、会員相互の連携への支援を行った。

(ア) 会議について

役員会(9月、3月)総会(6月)を開催し、会員同士の連絡、調整を行い組織の運営を行った。

(イ) 啓発・情報提供活動について

情報誌を年4回発行し、主催・共催行事に関する広報や会員の紹介等を行った。

また、ホームページによる健康づくり情報の提供を行った。

(ウ) 共催、後援行事、出張講演の開催について

会員から要請のあった健康づくりに関する研修・講演会の共催や後援を行い、開催を支援した(7回)。また、出張講演として講師を派遣した(3回)。

(エ) 会員数の拡大について

新たに7団体が加盟し、会員数は62団体となった。

イ 市民健康づくり大会

千葉市の「健康づくり週間」の一環として、平成18年10月13日・14日に、「たばこ・アルコール・糖尿病」をテーマに各種事業を行った。

平成18年10月13日は、“ば・る・るプラザ千葉”3階ば・る・るホールにおいて、コント&体験談と講演会を開催した(来場者 650人)。

第1部：コント&体験談 テーマ ：「笑って学ぶ生活習慣病」

出演者 ：渡部又兵衛(コメディアン)

第2部：講演

テーマ ：「いきいきライフ おもいきり健康法」

出演者 ：松原英多(医学博士)

平成18年10月14日は、センシティタワー1階南北通路において、健康づくりに関する各種相談や指導・展示を主とするイベントを開催した(来場者 2,570人)。

ウ 健康づくりのための普及啓発事業

健康づくりに関する各種啓発物品を、イベントを通じて市民に配布した。

(単位：個)

行 事 名	配 布 数	摘 要
腹囲を測ってメタボリックシンドロームを予防しよう！	1,400	メジャー
あなたにせまるメタボリックシンドローム	1,700	リーフレット
「健康はみんなの宝物」	200	ウェットティッシュ

(2) 救急医療知識の普及啓発事業

救急フェア・救急法等講習会

平成18年9月9日に、あすみが丘ブランニューモールにおいて、千葉市消防局と連携し、救急法等の講習会を開催した（参加者 2,445人）。

(3) 訪問看護ステーション事業

56人の在宅療養者に対して、延べ2,211回の訪問看護サービスを実施した。

訪問看護の実績

ア 利用者数及びに訪問延べ回数

(単位：人)

区 分	利用者数	継続者数	新規利用者数	終了者数	訪問延べ回数
人 数	56	41	15	21	2,211回

イ 利用頻度の状況

(単位：人)

区 分	1回/月	1回/2週	1回/週	2回/週	3回/週	4回以上/週	合 計
人 数	2	4	32	13	5	0	56

ウ 居住地別利用者数

区 分	中 央 区	花見川区	稲 毛 区	若 葉 区	緑 区	美 浜 区	合 計
利用者数（人）	9	9	17	2	1	18	56
割合（％）	16.1	16.1	30.3	3.6	1.8	32.1	100.0

エ 利用者の保険内訳及び平均年齢

区 分	介護保険対象者	医療保険対象者	合 計
利用者数（人）	44	12	56
割 合（％）	78.6	21.4	100.0
平均年齢（歳）	80.1	55.3	74.8

(4) 居宅介護支援事業

41人の要介護認定者に対し、介護サービス計画を作成した。

ア 介護サービス計画の作成状況

(単位：人)

区 分	利用者数	継続者数	新規利用者数	終了者数	計画作成件数
人 数	41	38	3	13	395件

(5) 看護師養成施設事業

平成18年10月に看護学校開設準備室を設置し、平成19年4月の千葉市青葉看護専門学校の開校に向けて諸準備を行った。

ア 学校の概要

名称 千葉市青葉看護専門学校
所在地 千葉市中央区青葉町1273番地5
学科等

学科	定員	修業年限
第1看護学科	40名	3年
第2看護学科	40名	2年

敷地面積 15,867.5m²

延床面積 6,747.57m²

構造 教室棟 4階建 鉄筋コンクリート一部鉄骨鉄筋コンクリート造
実習棟 3階建 鉄筋コンクリート造
体育館 鉄骨造

施設内容 校舎（一般教室、実習室、図書室、体育館等）、グラウンド、駐車場等

イ 入学試験

学 科	試 験 日	定 員	応募者数	倍 率	受験者数	倍 率
第1看護学科	平成19年2月3日	40名	192名	4.8倍	156名	3.9倍
第2看護学科	平成19年2月6日・7日	40名	142名	3.6倍	129名	3.2倍

2 指定管理事業

(1) 千葉市休日救急診療所管理運営事業

日曜日、祝日及び年末年始の昼間における救急患者を対象に初期診療を実施した。（診療日数 71日）

また、ねたきり老人・心身障害者（児）の歯科診療を予約制により、原則として、毎週木曜日に実施した（診療日数 43日）。

ア 休日救急診療実績

(ア) 診療科目別患者状況（診療日数 71日）

（単位：人）

区 分	内科	小児科	外科	整形外科	眼科	耳鼻 いんこう科	歯科	合計	処方せん 枚 数
患者総数	6,486	8,103	1,783	3,018	2,066	3,610	1,131	26,197	21,172枚
1日平均	91	114	25	43	29	51	16	369	298.2枚
割合(%)	24.8	30.9	6.8	11.5	7.9	13.8	4.3	100.0	

(イ) 居住地別患者状況

（単位：人）

区 分	中央区	花見川区	稲毛区	若葉区	緑 区	美浜区	市 外	合 計
患者総数	5,504	3,422	3,724	3,110	1,842	5,032	3,563	26,197
1日平均	78	48	52	44	26	71	50	369
割合(%)	21.1	13.0	14.1	11.9	7.1	19.2	13.6	100.0

イ ねたきり老人・心身障害者（児）歯科診療実績

(イ) 対象別患者状況（診療日数 43日）

（単位：人）

区 分	ねたきり老人			心身障害者（児）			合 計
	男	女	計	男	女	計	
患者総数	93	77	170	377	108	485	655
1日平均	2.2	1.8	4.0	8.8	2.5	11.2	15.2

(イ) 居住地別患者状況

（単位：人）

区 分	中央区	花見川区	稲毛区	若葉区	緑 区	美浜区	合 計
ねたきり老人	16	34	37	31	2	50	170
心身障害者（児）	113	60	44	120	82	66	485
計	129	94	81	151	84	116	655
割 合 (%)	19.7	14.4	12.4	23.0	12.8	17.7	100.0

3 受託事業

(1) 救急医療確保対策事業

休日や夜間の救急患者に対応するための医療機関の確保及び在宅による産婦人科当番医制の実施とテレホンサービスによる診療案内を行った。

ア 夜間外科系救急医療体制

夜間の急なケガや病気などの患者に対応するため、夜間外科系救急医療体制を整備した。

市内の17医療機関の輪番により、毎夜間・1医療機関が午後6時から翌朝午前6時まで診療に当たっている。また、処置困難な患者等の受入については、両市立病院をはじめ後方支援の確保を図り対応している。（受診患者数 11,979人）

患者数実績

（単位：人、日）

区 分	初期医療機関	後方支援病院 (両市立病院)	非当番協力 医療機関	三次医療機関	合 計
患 者 数	7,014	1,180	3,325	460	11,979
待機日数	365	261	365	365	—
1日平均	19.2	4.5	9.1	1.3	—

※初期医療機関及び後方支援病院を同日に行ったときは、初期医療機関に含む。

イ 産婦人科在宅当番医制

市内の産婦人科34医療機関の輪番により、71日間の診療を確保した。（受診患者数 331人、1日当たり 4.7人）

ウ テレホンサービス

区 分	電話番号	案内日数	案内総件数	1日平均件数
千葉市休日救急診療所	(244)5353	71	14,458	203.6
産婦人科休日緊急当番医	(244)0202	71	750	10.5
夜間外科系当番医療機関	(244)8080	365	6,580	18.0

エ 二次医療機関確保（病院群輪番制）

休日等及び毎夜間の二次医療機関を市内の病院の協力を得て確保した。

（単位：施設）

区 分		内 科	小児科	外 科	整形外科	産婦人科
千葉市休日救急診療所	協力病院数	19	5	17	10	5
	待機病院数	2	2	1	1	1
夜間救急初期診療部	協力病院数	18	4	－	－	－
	待機病院数	2	1	－	－	－

オ 年末年始一次医療機関確保

13施設の協力を得て、年末年始における内科・小児科の急病患者に対する初期診療の充実を図った。

(2) 災害時医薬品等備蓄事業

千葉市地域防災計画に基づき、災害発生時における迅速かつ円滑な医療救護活動が可能となるよう、地域の一拠点として医薬品・診療材料等の備蓄管理を行った。

(3) 訪問歯科診療事業

歯科診療の機会に恵まれない、ねたきり老人等の歯科診療を実施した。

予 診 者 数	訪問診療終了者数	協力医訪問延べ回数
53人	※25人	138回

※前年度繰越を含む

(4) 千葉市総合保健医療センター管理事業

経済性・効率性に配慮しつつ、保健所、環境保健研究所、環境情報センター並びに救急医療関係施設等の複合施設である総合保健医療センターの適正な管理に努めた。